



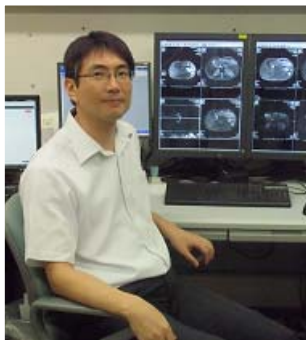
# 地域医療連携室だより

## Vol. 51

平成 25 年 9 月 1 日発行  
発行元 大津市民病院地域医療連携室  
住所 〒520-0804  
滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号  
TEL 077-526-8192  
URL <http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

## 診療部長就任のご挨拶

放射線科診療部長 市場 文功(いちば のりあつ)



皆さまこんにちは。私は本年 4 月から放射線科診療部長を拝命することになりました市場と申します。平成 8 年奈良県立医科大学を卒業し、今年で 18 年目になります。現在の研修医のようなスーパーローテートを経験しておりませんので、放射線科一筋でやってまいりました。従いまして、臨床に疎いことによる読影の不行き届きが発生するかもしれませんが、ご容赦ください。

私は卒業後すぐに奈良県立医科大学の放射線医学教室に入局しました。当時の教授である打田日出夫先生は日本を代表する IVR(Interventional Radiology)の権威であり、放射線科でありながら、25 床の病棟を持つ臨床科でもありました。そこでは血管造影手技を用いた肝細胞がんの治療や放射線治療を併用した胆道がんや肺がん、子宮がんなど多彩な悪性腫瘍に対する集学的治療を中心に行っておりましたが、閉塞性動脈硬化症や胸腹部大動脈瘤などの血管性病変に対するステント留置術も積極的に行っておりました。私達研修医は、これらの集学的治療を受ける患者さんの主治医として病棟勤務を行う傍ら、日中は CT、MRI、各種造影検査の勤務があり、そこで検査手技や読影を学ぶといった放射線科医と内科医の両立を強いられる多忙な毎日でした。多くの同僚が精神的に病む程の激務でしたが、3 年目に訪れた関連病院への異動をきっかけに、広く画像診断を学びたい気持ちに駆られ、1999 年に医局からのお許しを得て東京の民間病院に異動することができました。東京ではほぼ毎日のようにカンファレンスが開かれ、教科書を執筆されているような高名な諸先生方と直接触れ合う機会を得ることができ、幅広い知識と交友関係を築くことができました。そうしてできた交友関係が元となり、2004 年に東京慈恵会医科大学の放射線医学教室に入局することになりました。

東京慈恵会医科大学には、全身を一度に scan できる当時最新鋭の MRI 装置(Siemens 製 Magnetom Avanto)が日本で初めて導入されておりましたが、MRI に精通した研究員がちょうど不在だったこともあり、入局早々にその装置の研究担当者に抜擢されました。本邦では未経験の検査手法でありましたが、何とか標準化に漕ぎ着け、“全身 MRI”というタイトルで日本全国にわたり講演をさせていただきました。この MRI 装置のもう一つの特徴である、高い磁場均一度を生かした高画質の拡散強調画像を用いて、頭部領域以外での悪性腫瘍や膿瘍の検出に有用であることを報告し、実臨床に応用してまいりました。今では全身のあらゆる領域で拡散強調画像は有用なツールとして定着しつつあります。この研究成果を元に、MRI を用いた早期胃がん検出に関する論文で学位をいただきました。東京慈恵会医科大学在籍中は福田国彦教授に大変懇意にいただき、医局を離れた現在でも東京で開催される研究会・学会の講師や座長として呼びいただける関係となっております。まだまだ東京との縁は続きそうです。

放射線医学は扱う領域が全身にわたりますが、大学在籍中は研究発表が目的である以上、専門領域に絞った読影・研究を余儀なくされます。私は医師になって以来の目標である、全身を扱える放射線科医を目指してこれまで研鑽を積んでまいりましたので、どうしても方向性が合わず、大学を辞めることにいたしました。そろそろ故郷に戻ろうと思い、異動先の候補がいくつか挙がりました中、青木悦雄部長の人柄の良さに惹かれて、2007 年 9 月より当院の放射線科でお世話になっております。当院での勤務は今月でちょうど 6 年になります。

日常診療で出会う症例ではどうしても限界がありますので、関西圏で開催される研究会にはできるだけ足を運ぶことを心がけております。また、東京で研鑽を積んでいた頃にお世話になりました、筑波大学放射線科の南 学教授への恩返しもあって、毎月東京で開催される画像カンファレンスに当院で経験した症例を提示することを自らに課した義務としております。そのカンファレンスで関東の並み居る放射線科医をうならせ、その後の飲み会で大いに仲間と語り合うことを何よりの喜びと考えております。

元々、当院とは何の縁もない私がここで自由に働かせていただいているのは、ひとえに放射線科部長である青木悦雄先生の広いお心あつてのことです。青木先生が副院長として存分にご活躍いただけるように、放射線科の業務を支えていきたいと思っております。読影依頼をくださる皆さまのご希望にできるだけ添えるよう努力いたしますので、今後ともご支援・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

「日常生活における膵がんのリスクファクター」



8月2日に3回目の健康講座を院長 片岡 慶正が講義をさせていただきました。膵がんは初期症状がなく、診察した時には手遅れの場合が多く死亡率が高いこと、糖尿病と膵がんの関係、日常生活においてがんを負けないために変えることができるリスクファクターについてお話ししました。70名を超える方が受講され、たくさん質問をされていました。「がんを負けてはいけない！」を合言葉に、生活習慣を見直していただけるのではないかと思います。



健康講座

「肺結核について」

4回目の講義は8月22日に呼吸器内科診療部長 平沼 修が、過去の病気と思われがち「結核」について講義を行いました。「結核の最近の罹患率」の説明から始まり、「結核菌の特徴」や「感染の機序」、「感染と発病の違い」「検査」等を、イラストや肺のレントゲン、痰の写真等が盛り込まれたスライドを用いて詳しく説明されました。「昔の病気と思っていたがそうではないとわかった。ある程度の知識をもたないといけないと思った。」や「肺結核は治るということがわかり安心した。」との感想が多く聞かれました。



「感染予防について」

8月8日に「馬場中町白寿会」のご依頼で講座を開講しました。感染管理認定看護師 松下 弘美が講師をつとめました。スライドを用いての講演や実際に手洗いをしてもらった後にブラックライトを用いて汚れの残存の検証を行いました。手洗いの大切さなど感染予防に対する意識を高めていただくことができました。



出前  
講座

総合内科よりお知らせ

\*\*\*\*\*  
第13回総合内科症例検討会を開催します。

\*\*\*\*\*

9月5日(木)17:30～(約1時間の予定)  
大津市民病院 9階大会議室 A・B

演題:「心悸亢進を来した2症例」  
発表者:富田 一聖 医師(内科)

※ 公開講座としていきますので、多数の方のご参加をお待ちしています。

健康講座のご案内

9月12日(木)14時00分～15時00分  
大津市民病院 9階会議室  
「歯のいたみについて」  
歯科口腔外科医長 寺村 千俊



NST 勉強会のご案内

9月26日(木)17時30分～19時00分  
大津市民病院 9階会議室

・「嚥下リハビリテーション」

リハビリテーション部:生田 悦子(理学療法士)  
本里ゆかり・松田芳恵(言語聴覚士)他

・「嚥下訓練食・濃厚流動食」

栄養部:山崎 徹(管理栄養士)

※電卓・筆記用具をお持ちください。